

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 役員選挙 立候補一覧

平成 30 年 5 月 1 日  
 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会  
 選挙管理委員会 委員長 大城直人

【立候補数】

理事 15 名 監事 2 名

	役務	氏名	年齢	所属	趣旨および経歴等
1	理事	池城 正浩	54	医療法人 翔南会 翔南病院	これまで理事経験を重ね 5 期の代表理事を拝命させて頂きました。昨今、他団体との連携や行政との関わりが深くなり、組織及び事業運営を行う上では、未だ整備されていない課題が山積しております。今回、理事立候補にあたり、沖縄県理学療法士協会の発展と繁栄に寄与し、様々な課題の克服に努めたいと思います。
2	理事	小嶺 衛	55	医療法人 六人会 ロクト整形外科クリニック	2025 年問題に対し地域包括ケアシステムの構築へ向け大きく舵を取る必要がある社会情勢の中、職能団体である理学療法士協会としても公益法人として市町村レベルでの行政関係との密な連携が重要となる。またわが国の少子高齢化への加速は人口減少の社会変動へつながり、こうした近未来の社会情勢の劇的な変貌は医学界においても疾病構造の変化等様々な影響が予測され医療現場においてはその専門的対応の変化が強く求められることと思われる。こうした状況下、わたくしは、会員の皆さまの職能拡大に対して、そして国民の皆さまへの適切な理学療法の提供等に対して、微力ながらできる限りの力を注ぎたいと考え、今回公益社団法人沖縄県理学療法士協会理事へ立候補させていただく。
3	理事	城間 定治	43	障害者支援施設 ソフィア	第 7 次沖縄県医療計画や沖縄県高齢者保健福祉計画（第 7 期沖縄県介護保険事業支援計画）で示されたように、理学療法士の役割は大きく、県民の期待も大きくなってきています。 沖縄県理学療法士協会では会員数増加に伴い、質の担保や職域の拡大などの課題が挙げられる一方、県・市町村レベルでの地域共生社会の実現が急務となっています。 今後、社会の中での理学療法マネジメントを重点に取り組んでいきたいです。これまでの事業を継承し、事業展開をしていきたいと、この度、立候補致します。

4	理事	久高 将臣	46	沖縄リハビリテーション福祉学院	平成 25 年度より教育學術局担当理事（1 期目）就任し会員の研究支援に取り組み、①会員の研究活動等の支援、②学術誌作成支援整備等、保健医療福祉に貢献できる会員の育成に取り組んで参りました。2 期目は社会職能局担当理事として「地域包括ケアシステム」推進のため沖縄県や市町村民や行政の方々ならびにリハ専門職と協働する仕組みづくりを行いました。3 期目は、理学療法士が県民に貢献できる人材育成ならびに活用のための体制づくりの強化ならびに発展に微力ながら貢献したいと思い、理事へ立候補致します。
5	理事	山城 忍	44	沖縄リハビリテーションセンター病院	社団法人沖縄県理学療法士会は、平成 24 年 4 月より公益社団法人沖縄県理学療法士協会となりました。一人ひとりの会員が公益とは何かを意識し、今まで以上に、理学療法士としての知識や技術を生かし、広く地域社会に貢献していくために何ができるのか、何をすべきかを考えて行動して行かなければなりません。沖縄県理学療法士協会が、様々な形でそのサポートを行い、より一層、理学療法士の資質が向上し、職域が維持拡大され、その役割が認められるよう、微力ながら努力いたします。
6	理事	川畑 真紀	43	学校法人 智晴学園専門学校 琉球リハビリテーション学院	平成 26 年度より、沖縄県理学療法士協会理事として 4 年間教育學術局担当理事として携わって参りました。近年、理学療法士に求められるものが多様化してきており、たま新生涯学習システムの構築や理学療法士養成校の指定規則の改定等、今後いろいろな変化が見込まれると思います。まだまだ理事としては力不足を感じておりますが、その中で微力ながら、これまで携わってきました人材育成等にさらなる貢献ができたらと思っております。
7	理事	立津 統	52	医療法人八重瀬会 同仁病院	私は、理事への立候補は 5 期目となります。地域厚生担当、社会局を経てきました。また政策検討委員を継続して行っております。理学療法士の職種拡大、雇用の確保を前提に、県民からのニーズに応え（地域包括ケアシステムにおける役割）、理学療法技術向上、研修を幅広く還元していくことが重要と考えております。それらを実現するために立候補致します。
8	理事	照屋 一樹	33	株式会社まなざし	この度、立候補させて頂きます、照屋一樹です。これまでの二年間、社会職能局居宅支援事業部を担当させていただきました。 我が国の人口動態及び社会保障費増に伴う、診療報酬・介護報酬改定への影響は引き続き厳しさが予測されます。平成 30 年度医療介護同時改定では、在宅リハビリテーション領域では医師の関与及び、リハ職の配置によって業務も大きく変化しており、我々の知識・技術及び、他職種と協働すべく、マネジメント能力も求められています。 沖縄県でも「地域包括ケアシステム構築・促進」に向け取り組まれており、

					<p>介護予防への取組みと、介護を必要とされる方々の在宅リハビリテーションの提供およびその質の向上に取り組まなければならないと考えます。</p> <p>沖縄県理学療法士協会として活動してきたこれまでと、これからを会員皆で考え、共に取り組んでいきたいと思っておりますので、この度立候補致します。</p>
9	理事	村井 直人	33	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院	<p>前期2年間は教育学術局の担当理事として生涯学習システム、専門認定士領域、研究支援を事業計画し、多くの会員へ周知・活用していただけるように取り組みました。様々な要望を聞く事もでき、次に活かしていきたいと考え今回も理事として立候補させていただきました。</p>
10	理事	運天 智子	51	沖縄中部療育医療センター	<p>公益社団法人の健全な事業運営の為に、厳格な会計管理が求められています。微力ながら、お役に立ちたいと考え立候補致します。</p>
11	理事	神谷 喜一	49	社会医療法人友愛会 豊見城中央病院	<p>2025年問題における社会情勢の変化や医療の進歩と共に理学療法士への期待が高まっています。高度急性期医療からの早期介入や地域包括ケアへの関わりといった幅広い領域に対し、積極的かつ効果が求められています。それぞれの領域に携わる理学療法士を支援し、県民の健康に寄与できるよう尽力したいと考え、理事に立候補します。</p>
12	理事	末吉 恒一郎	44	医療法人おもと会 大浜第二病院	<p>平成28年～29年度の任期においては、教育学術局にて、主に新生涯学習システムへの移行に向けての準備や専門・認定理学療法士促進事業に携わってまいりました。当協会における新生涯学習システムへの移行は2022年4月に予定されており、現行の新人教育プログラムや専門・認定理学療法士制度からの大幅な変更が予定されています。当士会においても体制整備や会員へのタイムリーな情報提供が必要不可欠であり、引き続き新生涯学習システムの整備に尽力していく所存です。また地域包括ケアシステムに関連し、当士会における事業運営も理事中心の体制から、各地域におけるブロック単位さらには市町村単位での支部化が求められています。特に理学療法講習会や勉強会の開催において、各ブロックが主体となり教育学術局がサポートする体制を整備していきたいと考えております。</p>
13	理事	金城 良和	46	医療法人 アガペ会 北中城若松病院	<p>平成25年から沖縄県理学療法士協会に理事という立場で社会職能局、教育学術局に関わらせて頂いています。これからも日本理学療法士協会や沖縄県理学療法士協会の事業を支えていきたいと感じています。会員の皆さまが理学療法士として楽しく、充実できるよう力になりたいと思ひ、沖縄県理学療法士協会理事へ立候補致します。</p>

14	理事	当真 祐二	40	琉球リハビリテーション学院	平成 30 年度沖縄県理学療法士協会理事選に立候補致しました当真祐二と申します。これまでの協会活動としましては県学会、ブロック単位での活動を主に協力させて頂き、協会の役割・位置づけ・あり方などを経験させて頂きました。沖縄県理学療法士協会の理念にあります「理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技術の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的とする」この言葉の意味を実感しました。協会活動の必要性をさらに高め会員の皆様と共に協力し、理学療法士の発展、地域社会へのお役に立ちたく立候補致しました。理学療法士の実績・活動に関しても不十分ではありますが、今後の理学療法士の発展に精進致しますのでよろしくお願い致します。
15	理事	南部 路治	38	琉球大学医学部附属病院	琉球大学医学部附属病院は沖縄県唯一の大学病院であり、人材育成の拠点として重要な役割を持ち、高齢化社会を迎えるにあたって実践力と研究マインドを兼ね備えた理学療法士の育成は今後の重要な課題であります。これまで培ってきた経験と実績、行動力で、今後は理学療法を必要とする全ての患者・利用者のために、医療水準の向上を目指した臨床・研究・教育ができる会員の人材育成に尽力していきたいと考え、この度、理事に立候補いたします。
1	監事	千知岩 伸匡	47	宜野湾記念病院	これまで当協会の理事（6年）、監事（4年）を務めてきました。理学療法士としても丸25年となり、これまでの経験を少しでも協会のために役立てたいと思い、引き続き監事に立候補いたします。
2	監事	仲西 孝之	54	沖縄リハビリテーションセンター病院	5年前に14年間務めた本協会理事を退任致しましたが、この度、池城会長からの監事の要請を受け、微力ながら再び執行部に近い位置で沖縄県理学療法士協会のために尽力したいと考え立候補しました。現在、我が国は未曾有の高齢社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築が求められています。それに理学療法士が果たす役割は大きいと考えており、執行部と会員が認識を共にし、結束ができれば必ず乗り越えられると確信しております。理学療法士は患者や利用者、地域社会に貢献できる大変素晴らしい職業です。役員および会員皆様と何ができるか熟考し、汗したいと考えておりますので宜しくお願い致します。